

## 守山まるごと活性化 議事要旨

作成者:足立

会議名: 第10回 ホタルプロジェクト会議

日時:平成28年5月21日(土)

場所:吉身会館2階小会議室

出席者:吉身学区長、ホタルプロジェクト推進員

出席者(行政):吉身会館 高岡館長、足立 地域振興課 高山主任

使用資料:

議題	平成28年度事業内容について
<b>会議要旨</b>	
内容	
<b>①27年度の活動で感じたこと、考えたこと</b>	
<b>住民とのつながりに関すること</b>	
吉身学区、学区民のつどいで飼育展示したことがホタルに興味、関心を持ってもらえた。ホタル鑑賞会の参加者が多かった。(幼児～小学生108人、大人97人) 子どもたちが喜んで参加してくれた。	
内輪だけの事業になっているのではないか。	
27年度のホタルプロジェクト活動による住民への広がりはどうだったのか？	
ホタルに関して住民が全く関心を持っていないことに改めて気付かされた。	
<b>ホタルの育成に関すること</b>	
ホタルの飼育に関わり、今まで以上にホタルを愛おしく感じるようになった。	
ホタルの幼虫育成がなぜ失敗したのか(生存率10%程度)個人的にはまだ理解できない。	
吉身会館でホタルの育成に携わり、その難しさを痛切に感じた。	
吉身会館でホタルを飼育できたことが良かった。	
<b>その他</b>	
途中から参加できなくなったが、ホタルに関して日常的に意識していきたい。	
時間がなくあまり参加できなかった。	
<b>②あなたがプロジェクトの活動を通して実現したいこと、伝えたいこと</b>	
<b>環境整備・保護</b>	
毎年の飛翔維持	
負担の少ない河川の改良(手作り) 河川の景観・美観は重要	
きれいな川づくりのための啓発活動	
ホタルが3月末～4月末にかけて孵化するために陸に上がってくる時期を大切に見守ること(自治会会議等での啓発)	
ホタルの住める環境づくりを優先したい	
このプロジェクトを広げるために学区、学校の協力を受ける活動を行う	
川の清掃を通してホタルが飛び交う川の作り方を、地域の人に正しく知ってもらうように考えていく必要があるのではないか	
ホタルプロジェクトを通して地域環境の整備、清掃につなげていけば良いのではないか	
(裏面に続く)	
<b>決定事項</b>	今回出された意見を事務局がとりまとめ、次回会議(6月25日)にとりまとめ資料をもとに28年度事業を決定する。また、27年度事業の課題抽出を行い、28年度事業に活かす。
次回以降について	

## 会議要旨

### 内容

人とホタルとの共生(環境啓発)

河川周辺の維持管理

#### 住民を巻き込む活動

ホタルが飛翔していない地域の自治会こども会でホタル学習、ホタル鑑賞の夕べをプロジェクトとして開催

ホタルサポーターを募集して、勉強会や学区民のつどいでの展示支援(ボランティア)

プロジェクト活動を通して地域みんなが自然環境の大切さを少しでも意識して欲しい

自治会役員がホタルに対する関心度が低かったが、28年度から自治会行事でほたる鑑賞会を行うようになった。これを定着させ、住民のホタルに対する関心度を高めていきたい。

住民の関心(意識)を高める

プロジェクトの活動でこども会や学校にまで「輪」を広げ、子どもたちを交えた発表会等のイベントを開催する

#### 広報(公報)について

活動報告(公報)が必要

### ③プロジェクトとしてできること

#### 啓発活動の実施

きれいな川づくりの事例紹介

ホタルが飛翔している地域と勉強会をする。(課題抽出のため。)

こつこつ一歩ずつ勉強会を実施する必要がある。なぜホタルか?

幼稚園、保育園でホタルに関する啓発活動を行う

ホタルの鑑賞会、学区民のつどい等のイベントを通じた啓発活動を継続していく

昨年からの事業を継続して行うことと、各幼、保育園や学校等の生徒やPTAに勉強会を行ってはどうか。

小学生(3年か4年)がホタルに関わっている。

ホタル啓発活動を行う他団体等への支援(アイテム支給、資料提供)

今までと同様、NPOおよび学校、行政が一同に行える行事(プロジェクト)

ホタルの住む自然環境への住民の関心を高める

#### 河川管理

市街を流れる河川の水量が上流で調整されているようで極端に少ない所があり、農業委員会等と連絡を取り合い、ホタルの育成にベストな環境をつくる

河川管理と、ホタルの生育環境とをどのようにバランスをとるか、市の関係部署と調整する

#### 公報(広報)

活動をより多くの人に知ってもらう

#### マップの作成

ホタルの出現する場所をマップにまとめる

### ④プロジェクトの最終目標・到達点

#### 数値目標

具体的な数値目標をつくる

#### 環境

きれいな川づくり、ゴミゼロ運動の定着

ホタルが乱舞する昔の自然環境を取り戻す

きれいな川があり、ホタルの飛ぶ吉身学区をつくる

自然破壊のないまちづくり

#### 人とのつながり、啓発

ホタルを通じて子どもが笑顔でいられるふるさとづくり

ホタルが飛ぶ地域をみんなで守っていける地域づくり、先に繋げていける地域づくり

自然環境保護のため、ホタルを通じた住民参加の協同作業の意識の構築、復活

⑤平成28年度はどういった事を行いたいですか(昨年から継続して行うもの、新規に行うもの)

前年度からの継続事業(事業規模の拡大も含む)

ホタル啓発看板をより多く設置する

ホタル鑑賞会を継続して行う

自治会河川のホタル飛翔調査

学区民のつどいでホタル飼育、展示(啓発活動)

地域情報誌にホタルの記事を掲載していく

新規事業

27年度事業の反省と課題の抽出→課題解決方法を踏まえた育成への新たな取り組み

幼稚園、保育園へのホタル教室、出前講座

ホタルサポーターを募集し、勉強会を行い、学区民のつどいでボランティアとして活動してもらう

川、水路のゴミゼロ運動の導入

河川清掃を行うにあたっての方法、時期の検討(道路河川課との協議)

隣組でのホタル祭りが行える郷にしたい

手作りマップの作成

チルホール跡地にホタル公園を作るように働きかける

幼虫の飼育が出来る環境づくり、誰でも飼育が行えるような仕組みづくりを行う